



# 經濟安定九原則下斯くして縣民の生活の再建をはかり度い

西牟婁郡 二川村  
二川中學校助教諭 岩見敏二

- 目次
1. 經濟安定九原則が一般に理解されていぬこと
  2. 經濟安定九原則を縣民生活再建の爲に是非普及せなければならぬこと
  3. 耐乏生活と精神支柱の必要
  4. 協同精神が耐乏生活によりよき効果をもたらすこと
  5. 輸出産業の振興を縣民一丸としてはかりたい

## 一、經濟安定九原則が一般に理解されていぬこと

經濟安定九原則が日本經濟再建の爲に提示されてから既に半年になる。毎日の新聞紙上にその文字が出ていないことはない。新聞では此の解説や財界人の座談會の開催、世論調査、等を行つて啓蒙して居り又ラジオや、その他報道機關等に於ても、さかんに九原則に關する問題を探り上げて居る。拘らず、又第五國會が九原則に沿つた豫算編成の爲に努力をしたりした等々、吾々の政治に經濟に九原則の實行が絶対的のものであり又再建の爲の鍵であるかく重大意義を持つ九原則がこの農山村に於ては單なる時事問題の一つ位に思われ居り之は經濟のみに關する事であつて、然も専門

の人々や都市に於ける大工場、銀行、位に關係があつて想像して居る人達が大分である。又一部分の人で九原則の重大性に氣付いて居るがその内容を眞に理解して居る人は極く少數である。この山村にあつては林業労働者は何があつても最近事業家の資金の支拂いが遅れたりするの、仕事と金がふんだんにあるに二年前に較べて最近の仕事を追いつかぬばならぬ様になつたことや、何處からともなく傳つてくる農村恐慌必至説に百姓はおびえこんで慌てたり桑の手入れを始めたりする等々、その云う一連の生活問題と經濟安定九原則がどんな相關々係にあるのかと云うことを根本的に解明したくとも「九原則」とはどんな事か判らないから出来ぬ。此の間の某新聞社の世論調査の結果が比較的經濟知識度の高い大都市の市民を相手にしたに拘らず知らぬものが七割であつた、と云つて居るまじく農山村

の生活が國家財政や國際經濟によつて左右されて居るのである。自分の生活が一体どうなつて行くのかと云うことを考へたとき、一體國の方針はどうなつて居るか、云う事が當然考へられるであらう、家庭生活と社會生活、個人と社會、台所と政治等の高次の相關々係が日本人にはびんとは來ない缺點がある。是からの生活を建設し維持し進歩せしむるために先づ國の方針即ち九原則について良く研究せねばならぬ。此の意味に於ても九原則を平易な説明によつて縣民にその主旨を普及せねばならぬ、之に關して今度縣經濟安定委員會が此の問題を採り上げられた事は全く當を得たものであると信ずる。

さて九原則の平易な解釋とそれに關して當然日本の政治經濟の現狀なり或いは世界の動向等が説明されて來る

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

## 二、經濟安定九原則を縣民生活再建の爲に是非普及せねばならぬこと

吾々の生活が國家財政や國際經濟によつて左右されて居るのである。自分の生活が一体どうなつて行くのかと云うことを考へたとき、一體國の方針はどうなつて居るか、云う事が當然考へられるであらう、家庭生活と社會生活、個人と社會、台所と政治等の高次の相關々係が日本人にはびんとは來ない缺點がある。是からの生活を建設し維持し進歩せしむるために先づ國の方針即ち九原則について良く研究せねばならぬ。此の意味に於ても九原則を平易な説明によつて縣民にその主旨を普及せねばならぬ、之に關して今度縣經濟安定委員會が此の問題を採り上げられた事は全く當を得たものであると信ずる。

さて九原則の平易な解釋とそれに關して當然日本の政治經濟の現狀なり或いは世界の動向等が説明されて來る

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に



荒木副知事

## 一寸 描

長身細面の、スマートな、若い、小野知事。...

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

と云ふか、割り出す自信たつぷり、堅實一点張りの小野知事の女房役として、ときには智性を忘れて小野知事に

**日東紡績廣工場**  
取締役 田中康年  
工場長 有田廣村八九八  
電話 一三八・四四五番

**カネボウ C.N.C**  
1 船喰虫の嫌う船底塗料 (C.N.C一號)  
2 カツチに優る漁網染料 (C.N.C二號)  
製造元 鐘淵紡績株式會社  
代理店 藤商事株式會社  
大阪市南區堀町通三丁目三五番地  
連絡所 和歌山市本町一ノ八  
瀧波合名會社内  
(電話 703番)

**會の仙銘柄新撰** (二階)  
伊勢崎、八王寺、秩父、足利、村山の五大産地の今秋第一回力作新柄を豊富取揃え陳列即買  
婦人・コードモ服地入荷  
絹紡無地 (1ヤール) 620圓  
絹紡織地 (1ヤール) 485圓  
毛織地 (1m) 1,260圓  
和歌山 高島屋 公園前





### 名勝舊蹟コンテスト

## 那智

中村具嗣

名勝熊野の那智は、恰も美人の羅衣を着て立つているかのような優美妍麗たるものがある。文藝上の那智は、この一瀧の下に條々とかいてある。

霧生れて雲よこなびく岩山わとどろ地を掃り落つる瀧つ瀧空高く霧ふきながら瀧つ瀧は二息の間を岩そぎて落つ瀧から上手約七丁、そこに西國三十三番第一の札所「ふだらく」の御山に瀧つ瀧の瀧の青岸渡寺俗に「那智の観音さん」がある。前はかつ然とひらけて

遠く松島の点綴する瀧浦灣を越えてべようべようたる太平洋を望み後には千古斧鍔を入れぬ原始林の中から玉簾の瀧が聳える那智山景勝のたもとである。

原始林の盛り上る青のまん中にさいくくくと那智の瀧白く落つ寺の本尊は八寸の如意輪觀世音で、仁徳天皇の御宇、天竺の僧侶業中瀧壺から八寸の瀧像を感得してここに草庵を結び安置したので當寺の創めで、中古の神佛混淆の頃から歴朝の尊崇厚く、殊に花山山家とすればおのづから花見の人となりぬべきかな。ここに三年に参籠せられたと傳へら

れ、吉野とともに修験道場となつて熊野三山のひととして最も歸依が深かつた。

本堂の前に秀吉公が献納したという八疊敷いて、太い布の綱でたたくとガーン／＼といふ爽快な響きをおける。ここから熊野那智神社はすぐ左手の高臺にあり、やがて仁徳天皇六年の創立で熊野三社の一で結大神を主神として十三殿があり、神寶が多く毎年七月十四日には大祭扇會式が行はれ、古式ゆたかな大和舞、那智田樂舞が有名である。

ここから更に自動車で二十分程上ると妙法阿彌陀寺のある妙法山に着く。一名女人高野と稱して昔は多くの遺骨が納められ、参詣する人々が掃を持つて墓に差しおいたのが根がつき頂上附近に群生してゐるため「しきみ山」の名が起つたという。

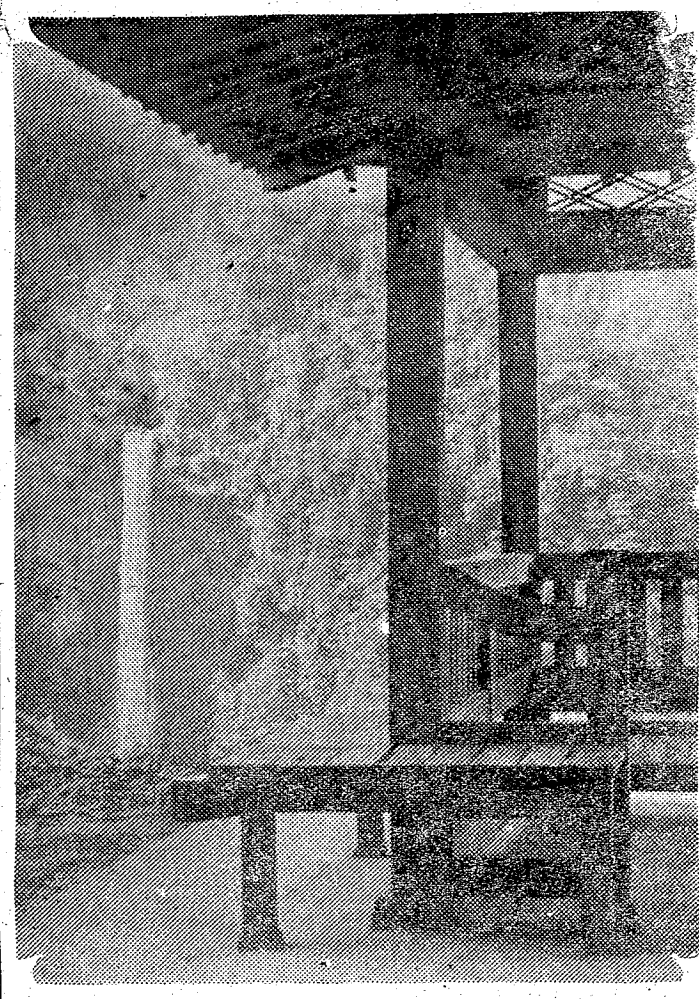
海拔七五〇米の高峰で眼界を遠く潮岬までの長汀曲浦が一帶一眸に入りとて眺望絶佳雄渾壯大な景観に接することが出来る。

私はもう數年那智山へ登らない。汽車でその後幾回となく那智の山麓を通るが貧乏ひまなしで通過してしまふが、一度この山の冷気にふれたいものと希つてゐる。

(二四、八、一三)  
(筆者和歌山縣廳農業協同組合課長)

古杉老樹うつそつと残り、自然石の段々道には苔がむし、晝尚暗いあたり山氣はすでに冷々と頬を打つ、下ること約一丁で大瀧の前に出る。

この瀧は那智四十八瀧の一の瀧で、巖石峽々とそびえる石英粗面岩の絶壁にかかり、直下八十丈、中七丈、瀧壺は方一町といひ傳えられ、瀧そのものが飛瀑神社として祀られてゐる。翠巒の原始林の中から水聲とう／＼と落ちて落下、飛まつは雪のごとく散り、水煙はもうもうとして虹を生むところ實に神々しい限りである。殊に落下の途中れいれい緋々千條の銀糸を垂れるところがあつて、瀧全体の



原野のよきまの生かへ  
流るる瀧の龍をまろくあり、且願

## 共同募金の沿革

共同募金は Community Chest of 色々の慈善団体を援助しようとしたというの「共同社会」公衆といふ意味であり、Community Chest は、たくさんの慈善団休から入りかわりたちかわり寄付を求められたり、第一時間には賛成が多い。趣旨には賛成でも手数が大變である。不公平になる場合もある。そこで寄付する側が一定の積立金をつくつておけばさういふ煩わしさがなくなるわけである。この団体は更に四年後の一八七七年、寄附をうける側の慈善団体を調査してほんとするに受けたいのある立派な団体だけ援助するようになつた。慈善団体のなかに

## 九原則敷え歌

- 一つとち 日々の生活に織込んで
  - 二つとち 足りない間に働いて
  - 三つとち 税金完納いたしましやう
  - 四つとち みんな收支を記帳して
  - 五つとち 冗な費えのないよう
  - 六つとち 経済復興に努めましやう
  - 七つとち インフレ防止は
  - 八つとち 無理な借金せぬよう
  - 九つとち 樂は一時苦は長い
  - 十つとち 何を措いても供出は
  - 十一つとち 人にむくれず果しましやう
  - 十二つとち 闇の物價を閉出して
  - 十三つとち 貸金安定させましやう
  - 十四つとち これから先の國策は
  - 十五つとち 貿易振興で進みましやう
  - 十六つとち とにも角にも生産を
  - 十七つとち 殖やすが祖國の再建だ
- (井戸本 新藏)

## 秋夜隨想

含羞の歌人  
式子内親王の歌  
栗栖 安一

玉の緒は絶えなば絶えなばならへば  
忍ぶることの弱りもぞす  
今日の我々は有産者と無産者、労働家と資本家、左翼と右翼、民族と民族という風に、すべて對立の相に於て物を見る慣習になつてしまつたが、辯護法的止揚によつて、そこに社會の進歩と文化の向上を將來しようとする人間に課せられた宿命的な對立であつて、幾人か先哲は一應解決つてくれたもいる。

たゞ業深い人間である故に、闘争の歴史を練りひろげているのみである。しかしながら、男と女、この對立こそは先天的なものであつて、如何に我々が研究苦慮した所で容易に解消出来る問題ではない。ただ我々は、一に之を加えて一とするの難事を敢て克服しなければならぬ。この難問題の前に幾十億の人々が、過去に於てどれほど苦しい経験を積み重ねて來、尙今後も續けて行かねばならぬことか。たとへば、入學試験に合格し、人事院の採用試験をパスし、或は巨萬の富を蓄積してもこの難關を突破出来ない人は、究極の幸福を獲得することは困難であらう。しかし、富士山頂に立つた時に湧く快哉は、その學問の苦しさの中にある喜びの集計だとも云える。

一に一を加えて一とするために苦悶の花を咲かせた先人達の花園を、我々は今幾多の文學書に見ることが出来る。私は今それを平安朝の一人式子内親王の御歌の上に見ようと思ふのである。

「國民たすけあい共同募金」以來である。日本ではまだ歴史が浅いため趣旨が徹底してゐないが、アメリカは歴史も古く、國民運動として一三年オハイオ州クリングランド市に創設された慈善博愛事業連盟によつて實施されたのである。

日本では局部的には大正十年長崎市共同募金運動が行われたこととあるが、全國的な規模の下に展開されたのは、昭和二十二年の